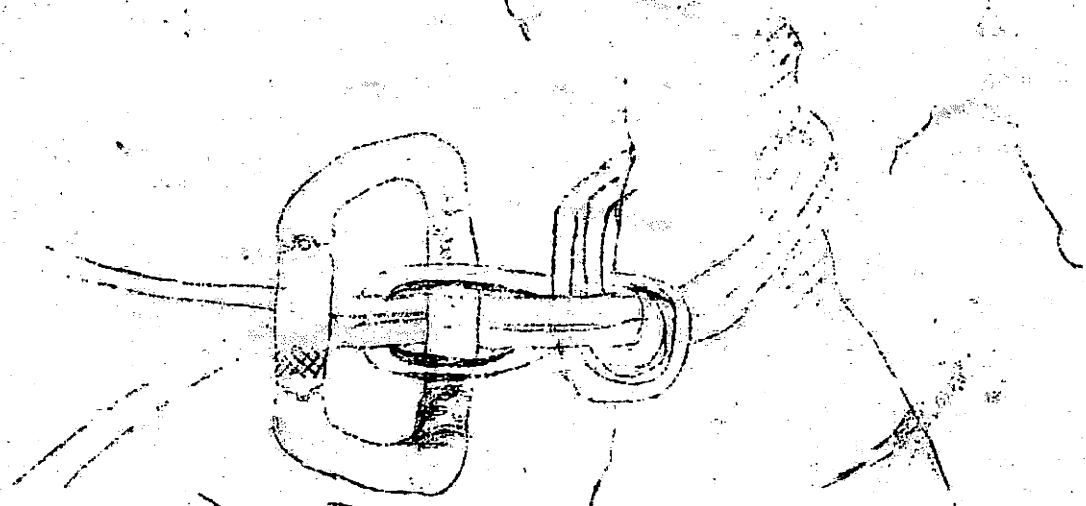


83年度

# 夏山個人

山行報告書



# S.A.C

信州大学山岳会

87年度夏山個人山行報告書 目次

縦正合宿 北アルプス 北部  
北アルプス 沢ノ木コース

黒部 上/廊下

三峰川 三軒岩 小屋沢

明神 五峰 中央川ニホ

奥又

甲斐駒赤石沢 万ニヶAB 奥壁

屏風岩 東壁 緑ルート

大山 東壁

屏風 奥核ルート

甲斐駒赤石沢 奥壁

屏風 東壁 ルニセ"

屏風 木スラフ"

屏風 石岩壁 TECC

屏風 栗壁 ルニセ"

霞沢岳

今回の表紙 加藤

北平縦走合宿 (江戸部)

X=11 L.百賀加藤 杉浦水谷 森

7/7 7:45 ● 七倉

日 12:15 月合目の北工

14:40 T.S着 船漕小屋(11:20分)

1日中甲F-F。樹林帯では暑かFが険急上Fが  
は寒。

by Mori

7/8 7:05 ● T.S着

月 7:30 ① 二保 (針ヶ十ノスル11ヶ合)

13:50 ① T.S着 (針ヶ本小屋(11:50分))

朝元 天気が非常に心配工小Fが圏外  
全体の感じは2日 シンドイノスF-F。

by Mizutani

7/9

火 5:45 ① T.S着

6:15 ① 針ヶ本小屋頂

8:30 ① 赤沢岳山頂

12:10 ① T.S着 (種ヶ下=場)

全日不安定と2日FがF。FのC-クエツル  
Q2.18.2F。

by Kato

7/20

水 5:05 ● T.S着

5:55 ● 針ヶ直下 荷物下本頂往復

8:35 ● 鹿島山頂 雨強<存子。

14:25 ● 本峠のF下刊。豪雨強風  
曇<針ヶ痕山2113F外 =1F下天  
(五巻。手前。三子)

五巻手前20針ヶ痕山(針ヶ路)2本峠  
鬼ヶ所 針ヶ痕山Q2 =1F下天福子。

by 毛川

7/21  
 木 9:05 ● T.S 茶  
 13:25 ○ 青松山荘  
 14:20 ○ T.S 着 (川内民権才4ヶ山  
 標高 2360m) へ 赤山ヶ山  
 EULF 距離 2187m 昨日・疲弊が 二E 二F。  
 杉浦

7/22  
 金 雨 即座  
 時刻 強風 霧が濃く 視界 狭い。

7/23  
 土 8:40 ● T.S 茶  
 10:30 ○ 川内 11:20 停  
 "17H-1 R-7"ウ=11ト 1乗分可"  
 対一場を F子。部室を P=221 午後E 廻り  
 by 森

ダイアモンドコース

Members L 藤田 下田 角谷 4人

7/17  
 日 8:50 ● 角沢茶  
 10:55 ● 下沢小屋着  
 14:25 ● T.S 着  
 E1=かく 荷が重い 角沢から針ノ木雲溪に子道  
 は わかりにくい  
 by 下田

7/18  
 5:20 ● T.S 茶  
 9:30 ○ 二俣  
 2:40 ○ T.S 着 平の赤松谷の所に七手前  
 角谷の山頂に 雨のFの針ノ木のCOST=取り清り  
 by 角谷

7/19 5=40 ① T.S 出発  
 6=00 ① 平山三度し  
 8=20 ① 刈田峠 (110= 22-27=110)  
 12=15 ① 五色ヶ原の 干=場  
 旧 8. 天気だった 荷が重く 疲れた

7/20 4=35 ① T.S 発  
 7=10 ① 越中峠  
 10=25 ① スゴ小 道 = 手ごたえ  
 11=40 ① 2308 峠? かなり 寒い  
 山が 強(く) 尾根 筋 寒い

17時 杖 薬師岳 避難小屋  
 小屋に 近づいたら 死に かけた  
 履き 履き、山の上、は 2 知 行程 だった。  
 遭難 本 を見た 時は ショック を 受けた。

7/21 9=40 ① T.S 発 風 強く 干=内 2 行 機  
 11=35 ① 薬師峠  
 15=30 ① カノッヶ原  
 峠 と 比べ 天国 の 方 だった。

7/22 赤坂 カノッヶ原 雨 多い

7/23 5=15 ① T.S 発  
 8=00 ① 鹿の平山 荘前 つかれた。  
 12=20 ① 三俣山 荘  
 2=40 T.S 着 (双六)  
 10時間 の 行動 つかれた。 明日は S.T かな かな  
 かな

7/24 雨強く 坑殿

7/25 5=25 ● T.S 飛  
10=15 ● 槍の肩 風強し  
13=15 ● 旧槍沢小屋  
15=45 ● 横尾 バッテ  
17=30 SIT 着

クドヤ

土廊下 (と見せかけた) シヤ - とう記

- 7/30 ① → ② 松本 ~~→~~ 奥黒部 <sup>zh</sup> T.S
- 7/31 ② T.S — 平 / 三度し — 奥黒部 七ツ丁
- 8/1 ③ 坑殿 三ツのツウ
- 8/2 ④ T.S — 流売新道 — 赤牛 — 水晶 — 双六
- 8/3 ⑤ T.S — 槍 — 廿二丁

X=11" — 上. 山本, 岩村, 山崎

上の廊下は大水でクマ、久し振りの  
縦走はしんどい。青田加交持で  
おかし。 天は穏い物。

三峰川～三軒岩小屋沢  
 Member) 山田判, 丸山, 藤井, 竹本, 大前, 水谷  
 期間) 8/3～8/5  
 記録) 8/3(0→①) 工事車に乗せられ～。

伊那 → 橋 → 荒川(三軒岩)小屋 → 熊沢合 (T.S.)  
 6:00            7:00                    10:35                    12:10

8/4(0)  
 T.S.出発 → 大横川合 → 兔台谷 → 三軒岩小屋沢 (T.S.)  
 5:55                    6:55                    9:00                    11:08 (T.S.)

8/5(0→②)  
 T.S.出発 → 稜線 → 仙丈ヶ岳山頂  
 6:00                    11:15                    11:25

山頂出発 → (長衛荘)北沢峠  
 12:05                    1:40

実質的な沢登りは最終日だけであとは単調な林道を歩くだけという様相です。時間的には、余裕がありそうです。この気持ちは2日行程でも行けようと思う。

また、ルート自体は去年の台風によりかなり荒れており引き返すことが多いです。本流と支流も入れかわりしているような錯覚さえおこす。

また本来、魚の多い沢と聞いているが、流木T.S.とにより沢が干上がり、一匹も見えなかった。

# 明神五峰中央リネ

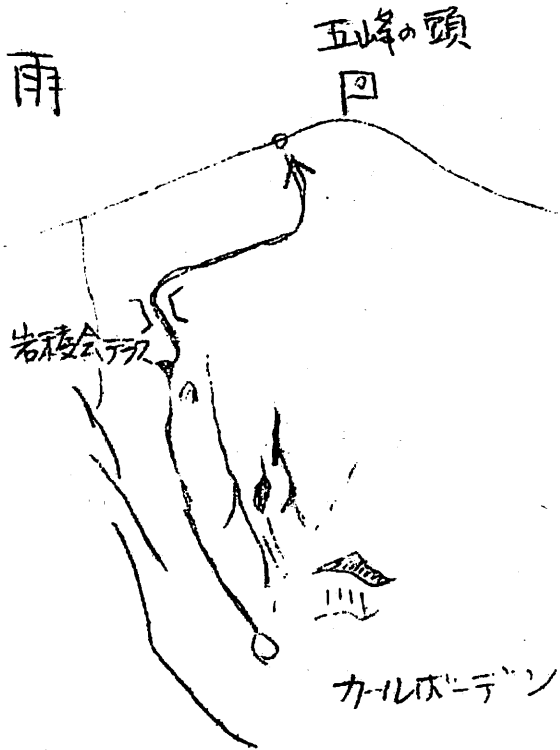
山系 細川 田瀬  
7月27日 曇 ⇒ 雨

サマ天発 4:50  
宮川のヨル 6:10  
中央リネ取付 7:30  
中央リネ取付 8:40  
五峰頂上 10:50

↓西南峰経由

サマ天着 2:00

[登攀時間 2.2時間]



中央リネはF<sub>1</sub>の左岸より取付く(踏跡あり) F<sub>1</sub>, F<sub>2</sub>は向題ないが  
F<sub>3</sub>のカールホーテンへのトラバースの所を傾斜をきつクホロホロ(IV)  
中央リネ末端周辺は傾斜がきつク取付がよくなる。

→ 我々は右岸より取付き中央リネを右下までフェースをローザイル  
で行きまわす。しかしザイルを巻いた方がよい (IV)

- 1目は悪い草付バネに浴びて中央リネを廻り込み中央リネへ(6所IV)
- 2目は脆い滝(IV)
- 3目は滝右のホロホロのフェースより中央リネにマスケフ(IV)後  
ローザイルで中央リネを登り(→所IV-A) 中央リネ最終ピッチ  
のフェース下に出る最後はマスケフのあるフェース(IV)を登ると五  
峰に出る

○ 下降は西南峰にとどま下方は踏跡がはまりしよい

(今回は中央リネ取付の雨で降り出し、中央リネでは雷雨  
岩が濡れているうえ、他に北麓のいくらかの脆さで5級は  
難しく感じました。死にたくない人は今後五峰の岩場に近づかない  
方がよいでしょう。)



甲斐駒ヶ岳登山コースA.B ~ 赤石沢奥壁  
(赤い壁 - 赤い壁 - 左ルンゼ)

Member) (正) 細川 功利  
期間 } 8/8 ~ 8/10  
記録)

8/8 (①→②) 伊那<sup>112</sup> → 北沢峠 → 仙水峠  
7:30 9:40 10:25  
→ 三段滝の下 → 赤石沢大滝下 → 岩小屋  
12:20 14:05 15:30

天武川の三段の滝の高さは道がわからず「ヤブジキ」でせらねた。結構高くて、いびきでいい。岩小屋は2~4人程度が寝る。

8/9  
(①→②) (ヨウ混) → ②  
5:30 岩小屋発  
6:30 駒ヶ岳登山コースA 赤い壁 取りつき  
10:15 \*\* 終了  
  
10:40 フラングB 赤い壁 取り付き着  
11:00 取り付く  
13:00 赤い壁  
16:45 終了  
17:00 天望台

(フラングAの取りつきまで) 少し速く。



岩小屋からルンゼ"状"を少々登りスラック上の草付きの踏み跡をトラバースしてAフラングの下へゆく。岩小屋から直接ゆけば"近"いと思われる。

- Bツラシ途中、強<sup>い</sup>雷雨に会い 樹材帯に入り15分程ソレ小  
 に入るとサカサマ震える。
- ルートは、ほぼ両者共ルート図通りかいた。YONは概して  
 正しい
- 岩小屋は2~4人程度寫れる。奥壁下部にBPマ10あり

8/10 (①→●) 赤石沢奥壁左ルにセ

6:20 取り付き  
 7:30 第2バット  
 10:45 第3バット  
 11:45 終了

終了点(稜線) → 北沢山  
 12:45 14:45

(取り付きで少し迷った。ルート図と照らし行くと、  
 といふ難に感じるといふが、そこは可なりとあり)

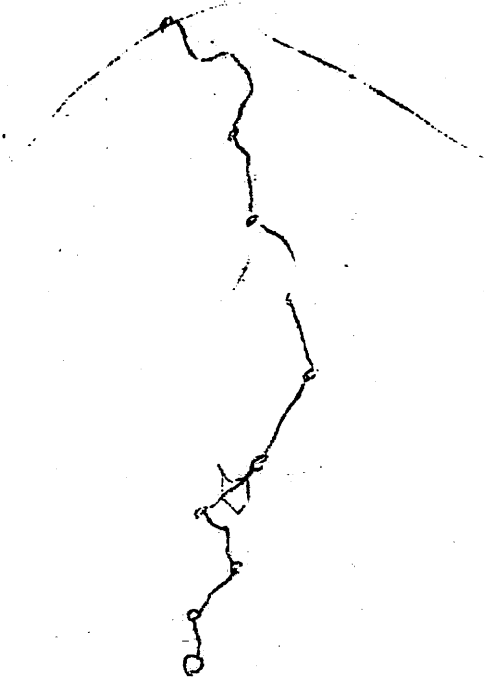
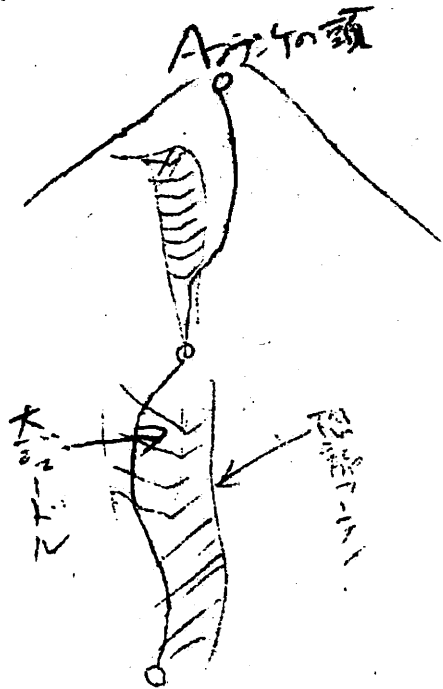
→ comment →

この時期に甲斐駒と行く人は、カリ線番を持参すること  
 役立ちます  
 by Takatori

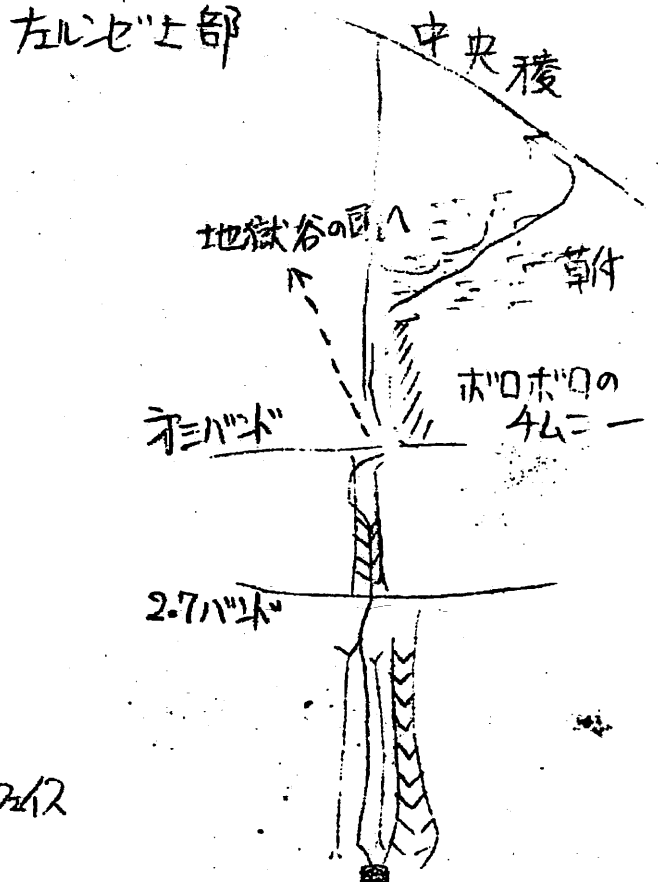
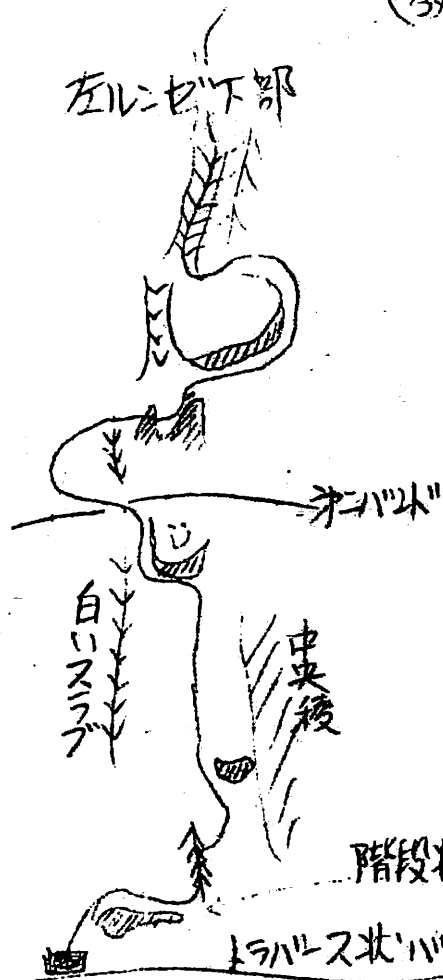
ルート図は次のよう

Aのラゲ赤い毛

Bのラゲ赤い毛



(教養部生協にて可成り照明あり)  
非常と云ふに可成り水谷  
左にセ"下部



# 奥又

Member 乙 細川, 田判, 藤田, 古賀, 舞竹, 森, 大前  
加藤, 水谷

期間) 7/29 ~ 8/1

7/29 入山 3100円 (晴れ)

NO.1 中又谷 1100円 - 乙 保科 古賀 森 大前

ST → 徳沢 → F8 → 奥又池  
5:25            6:35            10:25            12:30

F11は左岸から巻いたが、本当は石崖から巻くべきである。F13は  
A1 F13は石崖から高巻き。全体的に明るい。きれいな沢登り  
楽しめる。F13の直登は難しそうだ。 by Moti.

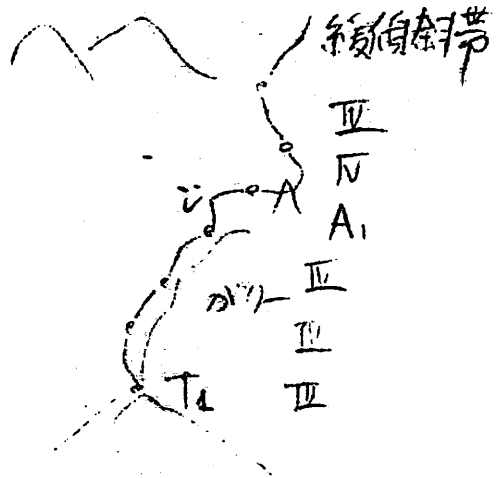
NO.2 松高尾根 乙 田判, 竹本, 加藤, 水谷

サカ生路 → 明神 → 奥又白池  
10:00            11:00            ~~3:00~~ 4:00

NO.3 屏風 1100円 - 乙 細川 藤田

7/30 四峰正面壁 北条新村ルート  
 Member) 藤田 加ト  
~~取付~~ 取付◎  
 終了◎

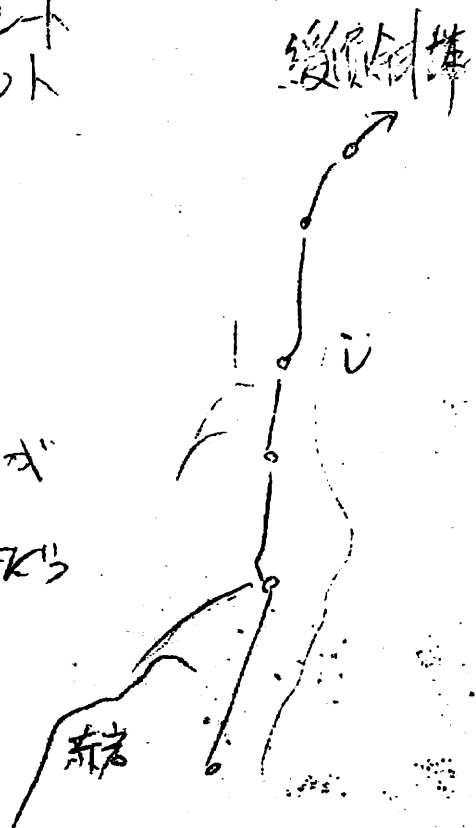
ホルト スクニ共に多く乗  
 4.4内題ナシ。  
 4P下の小なルグ?カ  
 百使いまるとは絶望  
 ア?ニを落とすめ(ア?ニ)  
 けよ。5Pのトラ?ニ意味行  
 き上へ。6P身勝



(感想) 高度感かまてお、カ。  
 あ、ハカたの?ア?ニおとカ!

7/30 四峰東南面 明大ルート  
 藤田 97体 加ト  
 取付◎  
 終了◎  
 5.6コル經由?B.C?

カ?の?の視界悪く赤岩の判断が  
 つまらぬカ。  
 考の濡れ?の?不安?カ  
 飛が"大丈夫?カ



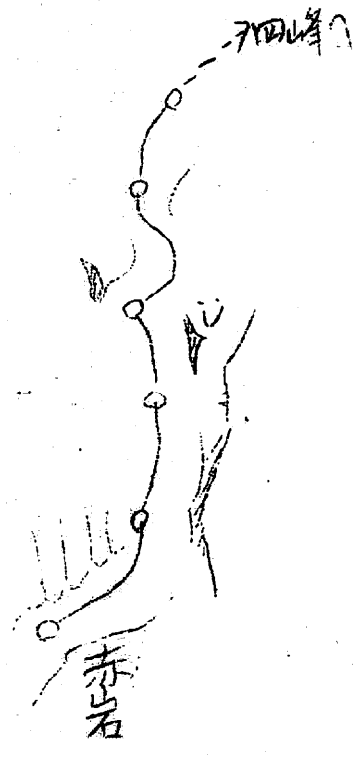
8/1 竹本 加ト 奥BCのT.L (松尾根経)

8:30 BC 秀  
9:30 徳沢  
10:30 S.T

松高尾根は雨の下め沢の様水が流れた  
奥又谷は増水のため渡河が困難。

7/30 TV峰東南面明大ルート  
Member) 田割 森

4P  
下.S. 5:45  
取付 7:05  
終了 8:40 / 11:05  
奥池 13:00



ルートはルンパ通。全体的にいい  
志はよく岩が多。はじめは竹  
にて緊張1K by M.ii

7/31 TV峰正面壁北条新村ルート  
Member) 田細川 森

T.S. → T<sub>1</sub> <sup>3P</sup> → ハマツテツ <sup>3P</sup> → 終了  
5:55 6:45 8:15 10:05

→ 奥池  
12:00

岩がぬれ7/12いやからK。4P目のA<sub>1</sub>は細川さん付。

古賀, 水谷 ハンター 救助隊  
 8/1 Member) 細川, 田沢

B,C 発	5:00
中大取付点	6:00
L字洞穴終了点	8:40
ビバルド地上	10:30
TV峰頂上	2:20
(5.6 至由)	
奥又池	着 4:00 発 5:40
徳澤	8:00

細川, 田沢, 藤田がまず中大の取付付近まで行き, 古賀, 水谷のコールを確認の後, 細川, 田沢は救助に, 藤田は, B,Cの係科, 中根と連絡に向う。(その後, 藤田はB,Cに待機, 係科中根は救助を確認の後, B,Cへ下山)

細川, 田沢は東南壁にいる古賀ハンターをガスの切れ間から確認の後, 下から救助しようとして東南壁に取付いた。しかし, ルートが判断できないうえ, 岩が濡れている, 非常に滑り, かつ滝のぶち雨という悪いコンディションが重なったため, 下からの救助は危険と判断, 1日半は下り不降。L字洞穴を登り上から救助することにした。L字洞穴終了点より, 左の東南面の bush 帯の壁を3P, 左に巻くように登り, 東南壁上段 (右ルートと清水RCCの間のカマで清水RCCの最後のシュートル出口付近の高さ) と本た。ここより清水RCCのシュートル上へトバース, 古賀ハンターのツイルを発見。しかし, ここから先は, サイルをたらいでも古賀たちとすれ

21日ため、届きそうにたからたので、一担戻り、カニテを  
10m程下降、小さなテラスを見つけた。ニは、ちよと  
真上でコンもあるため、ガイルをたらし、フールジップ  
で登らせろ。30m位たからたが、2人が登ってくるとの  
結構時間がたからた。ニより40m Fix 12V  
峰直下と出た。激しい雨と寒くて非常にしんど  
い救助であつた



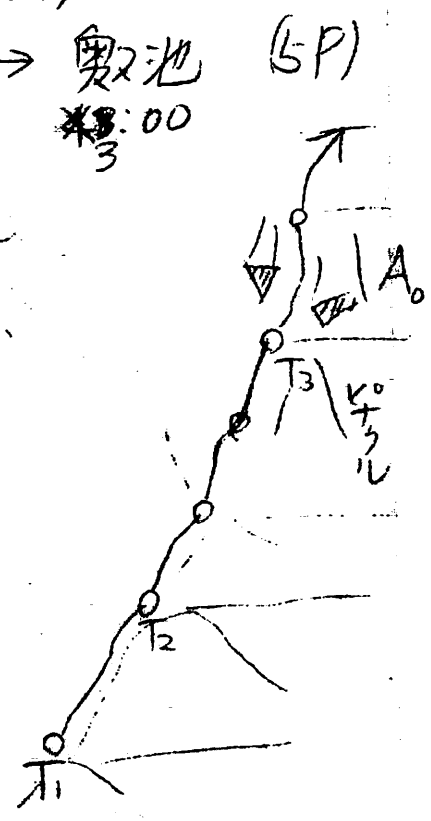
A0で行く。僕も落ちた。石を25分? A1で登る。Tc. 5P目をぬか? 11?、TV+位あり? TcはTcの難しさをルルトはルルト通す。  
3P目は少し石を رفت。

(ルルト省略)

7/30 四山峰正面壁甲南ルルト  
Member) 山古賀 水谷

T.S → T1 → 終了 → 奥池 (5P)  
5:45 6:45/7:00 11:00 \*8:00

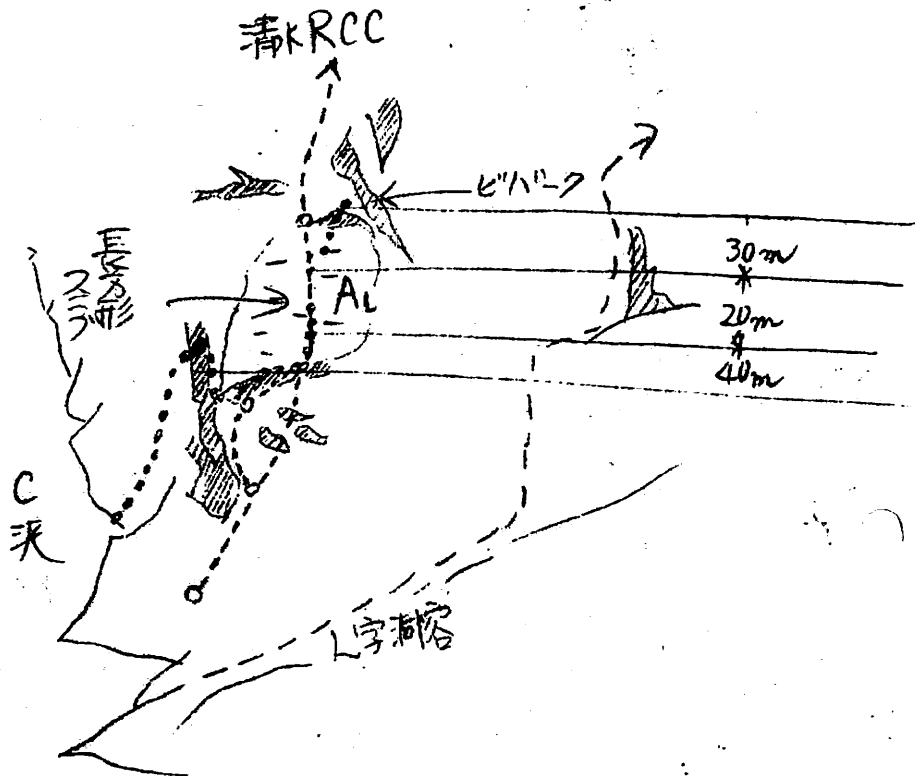
岩登りと17の醍醐味が味わえたのは4P目のA0のとこ3位くらいまで。あとの傾斜の中はややアホルト。フツフツと石が滑り落ちてきた。5P目を17以外で7:00-8:00帯であった。 by Mizutani.



7/31 TV峰東南面山字洞  
- (稜は清水RCCと見かけ)

Member) 山古賀 水谷  
天候は 濃霧 → 雨  
T.S → 取付 → キンクポイント →  
5:45 9:30 1:00

8/1 ビンゴポイント脱出 5.6 経由 奥又池  
 1:30 ~~1:30~~ 4:00



1目 はとこかく右へのトラバース。濃霧と加え  
 風がすし吹いていて、callのヤリトリがうま  
 くない。

2目 長方形スラフの登りでTVはあてと思  
 う。3目、ニで古登山が滑落する。ニは  
 部の間を越えたと3で水谷は体力を使い  
 すぎた。ザイルを替えてのぼる。

ここがこれ以上の登攀不可と判断して、アップザイル  
 (古登山)して、傾斜がきつたため留まりになり  
 のぼりまのり3時間ほどかかると。このときザイル  
 が岩のかたでキズつく。

所感:

とこかく寒かった。トレスがあんまりケツにくいこと  
 こともわかってきた。今度体力がつかうと  
 清水RCCへのぼると。

# 屏風岩東壁緑ルート

Member 山細 鷹取  
期間 6/18 ~ 19

6/18 伊那 → 上高地 → 横尾小屋

6/19 横尾小屋 → T4 尾根取付 → T4  
(4:45) (5:45) 6:45

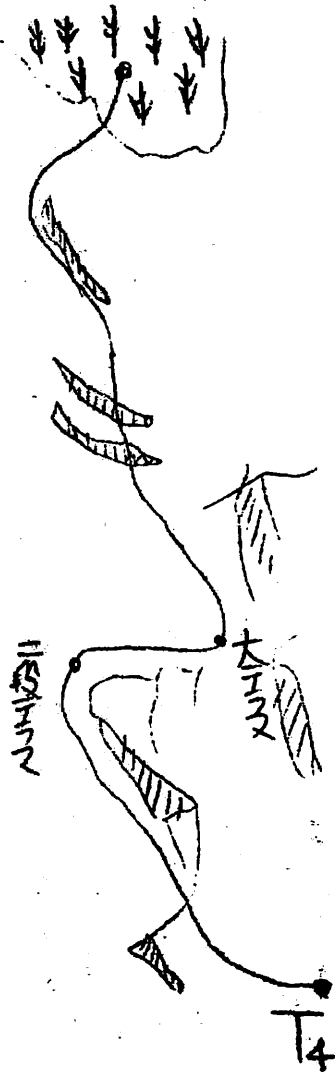
取付 7:10 } TP+2P (最後の7:10)  
終了 12:10

12:50 終了卓凳  
13:30 屏風の頭  
15:20 徳次峠

T4尾根は、ア790-4と言  
えあたりとよたい。(TP 2P)  
ルートは、下部2Pを緑ルートに  
行く。

リングがとんて"はる  
ホットのまきか"甘いハーゲン  
カ"あった。

by かつり



# 丸山東壁 塚田、喜ルト

Member 山崎 藤田  
 期間 9/2 ~ 9/4

9/2 ① 15:16 9:00発 → 16:10 BP着 (11:20集合)

9/3 ① 5:00 出発  
 6:30 取付  
 10:30 下部終了  
 11:10 上部取付  
 13:40 終了

「ヤコキ」

15:00 北峰着  
 14:30 縦走路  
 17:00 BP着

踏跡を北とつたせいで北  
 峰にせいで下)

9/4 ① 適当に帰る。上部は bush が多し、高懸。下は  
 泥がつかい、あまりおもしろくない。下部はおもしろ  
 くない。ほとんど「ボルトのリング」で下へ  
 まで下降もめんどくさい

(ルート図)



30m A<sub>1</sub> III ボルトが遠く、フシがきこえる

40m IV<sup>+</sup> A<sub>1</sub> 外傾、外傾、外傾

40m II 4本のストーンは問題ない、ボルト

40m IV 取付で A<sub>0</sub>

50m コーテ

2pitch II~III スカット

30m A<sub>1</sub> III 大岩、まの人工

40m A<sub>1</sub> 松、木、石

40m A<sub>1</sub> スラック、リング、たれ

40m IV A<sub>1</sub>

40m III + 四角、カ、テ、右、左、入

40m 草付、入

IV 四角、入

○扇岩雲稜ルート

Member) ① 細川 藤田

期 間) 7/28 ~ 7/29

記 録) 7/28 ① S.T. ~ 横尾

7/29 ① B.P. ~ 雲稜ルート ~ 頭 ~ 五六のユル ~  
奥又ノ池 (18:30)

T4 屋根取付 6:30

雲稜ルート終了 13:15 (ルート図参照)

感 想) 山靴、シュラフ etc. をもって、とても  
荷が重かった。雲稜はよく登られて  
いるルートだと思うが、扇岩からの  
ピッチはリングがほとんどありません。  
(藤田)

○甲斐駒赤石沢奥壁左ルンゼ"....中央稜

Member) ① 澤田 藤田

期 間) 8/11 ~ 8/13

記 録) 8/11 ① 伊那 (7:18) バス 北沢峠 ~ 仙水峠  
~ 本峰 ~ 甲斐駒 (12:30) ~ 岩小舎  
(13:40)

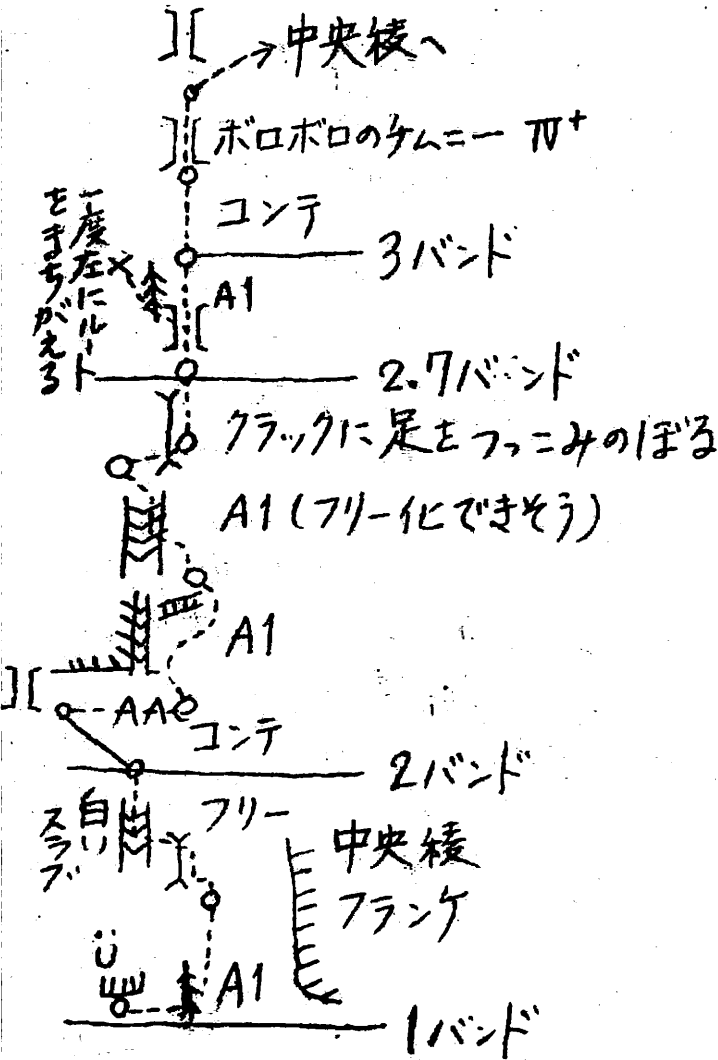
8/12 ① → ② B.P. ~ 左ルンゼ"登攀 ~ B.P.  
(取付 6:00 終了 13:30)

8/13 ① B.P. ~ 中央稜登攀 ~ 本峰 ~  
伊那

中央校登攀 (取付5:15 終了8:30 本峰9:40)  
 — 3 picn だが なかなかでこわい  
 ヤブユキもなめたりあかん

ルート図)

左ルンゼ



○屏風岩東壁ルンゼ

Member) ④ 細川 鷹取

期 間) 8/3

記 録) 8/3 ④ S.T. 5:00 - 取り付き 7:05/7:30 - T3  
9:00/9:25 - 終了 13:15 - S.T. 17:30  
(9pitch)

感 想) ルートは、ルート図どおりに行ったのでルート図参照  
ピンはリンクのぬけているのが結構あるが全体的に  
しっかりしている。Vはそれ程は無いと思う。  
(鷹取)

○屏風岩ルンゼ状スラブ (JECC)

Member) ④ 岩村 細川

期 間) 8/5

記 録) 8/5 ④ S.T. 5:30 - 横尾 7:10 - 取付 9:20 -  
終了 14:00 - 登山道出合 15:45 - 横尾 16:25 -  
S.T. 18:45 (登攀時間 4.7時間)

感 想) ルンゼ状スラブ末端の滝ヒガレ場はノーギール(Ⅱ)  
次は通常右岸を登るがぬけていたため左岸(右)  
より取付く。1P目、左岸のホールドの細かいスラブ  
ピンは少ないがチョックが使える。(V-) 2P目、左岸  
のスラブより右のレッジ上テラスへ(Ⅳ+) 3P目、  
やや脆いレッジより左へ約5mトラバース(Ⅳ)  
4P目さらに3mぐくろトラバースし、フレークの多い  
フェースを直上、通常ルートに戻り傾斜のきつい

山角を登り横断バンドへ(V)。5P目。脆い  
フェースより左上バンドへ(IV-) 6P目さくに脆い  
左上バンドから傾斜のきつい草付フェースを登り、  
左へトラバースすると外傾テラスに出る。(V-A0)  
7P目草付フェースをホールドの非常に細かいスラブ  
(V+ A0 or VI-) 8P目灌木まじりの急な草付  
フェース。1ヶ所ハングをアンダーホールドを使って  
右から回らむ。(V) 9P目いったん脆い  
バンドを右下に下り、右上(V-A0) 10P目、  
灌木帯(III+)。11P目 灌木帯(III+)  
カモシカ尾根下降は、40M アップザイルン  
2回使用。

一部脆い箇所はあるが、フリーの要素の多い  
おもしろいルート(特に下部)。但し雨の降った  
直後は登れる所が限られるため(下部)なる  
べく好天の時にいった方が楽しめるでしょう。  
(糸田川)

### ○屏風岩大スラブ

Member) ④山女 井上

期間) 8/8

記録) 8/8 〇一時 ⑤ S.T. 4:00 - T4取付 9:00 - T4 10:30  
S.T. 16:00

感想) T4 2P目で山女さんの調子が悪くなったので  
T4まで行って4P アップザイルンして往路下山。  
(井上)



○屏風岩東壁ルンゼ

Member) ④岩村 藤田

期 間) 8/9

記 録) 8/9 S.T. 4:00 - 取付 7:30 - T3まで行って岩村  
の作調わると T4 経由で帰る。

(藤田)

○霞沢岳千丈沢(中千丈沢)

Member) ④古賀 森

期 間) 8/9 ○ - 時 ④

記 録) 8/9 S.T. 6:15 - 中千丈沢橋 6:40 - 霞沢岳 12:45  
- ハエ門沢右俣上部 14:40 - 18:30 S.T. 着

感 想) 地下足袋が必要な山行である。40M 3段の  
滝は右岸から高巻く。上部がバングした 10M の  
滝は左岸から高巻く。ハエ門沢右俣は上部  
がボロボロで危険。アブサイルを 2P する。  
下降路はハエ門沢左俣の方が良い。  
途中 あられまじりの雷雨にあり、涸沢が  
濁流となり大変だった。そのため下降は  
途中まで尾根を下った。沢の名称が複雑  
なので表にして整理しておく。

地元名	登山大系名	二万五千図名
上千丈沢	— 無名沢	— 千丈沢
中千丈沢	— 千丈沢	—
下千丈沢	—	—

(森)



俺、この味好きだなあ。角谷

S.A.C

僕はきりいだ。下田

夏山個人山行報告書

昭和48年1月10日 初版

著者 森。水谷。加藤

発行所 信州大学山岳会

印刷所 信州大学附属医療短期大学自治会室

S.A.C®